



# クライアントアプリケーションの攻略



株式会社ラック

新井 悠

y.arai@lac.co.jp

<http://www.lac.co.jp/security/>

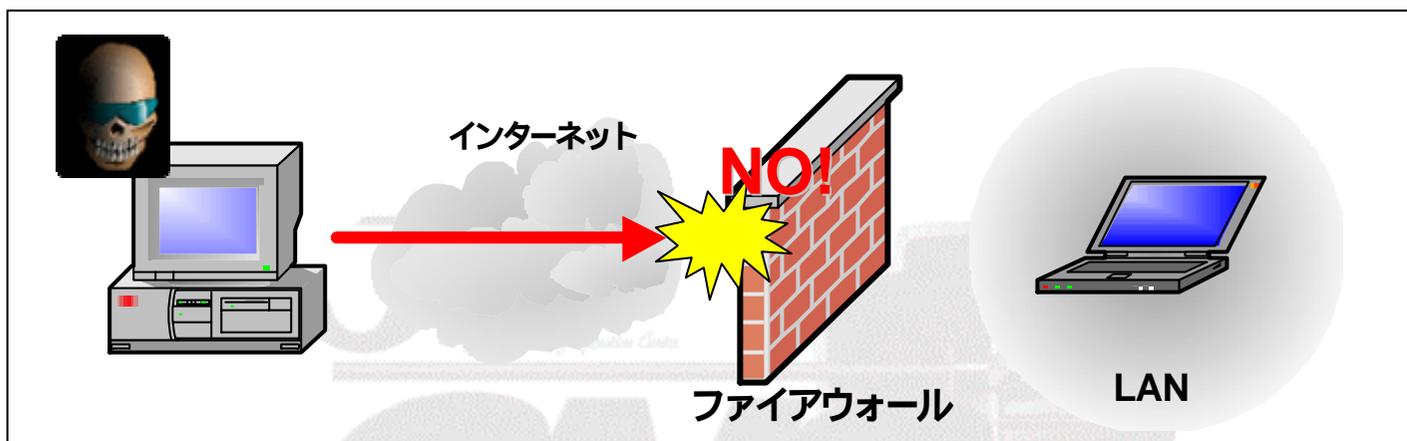
## • クライアントアプリケーションの攻略とは？

- クライアントサーバ方式において、クライアントとして動作するアプリケーションを利用し、**攻撃を発現させること**
- 標的となるのは、Webブラウザ、MUA、FTPクライアント、telnetクライアント、あるいはウイルス対策ソフトなど。。

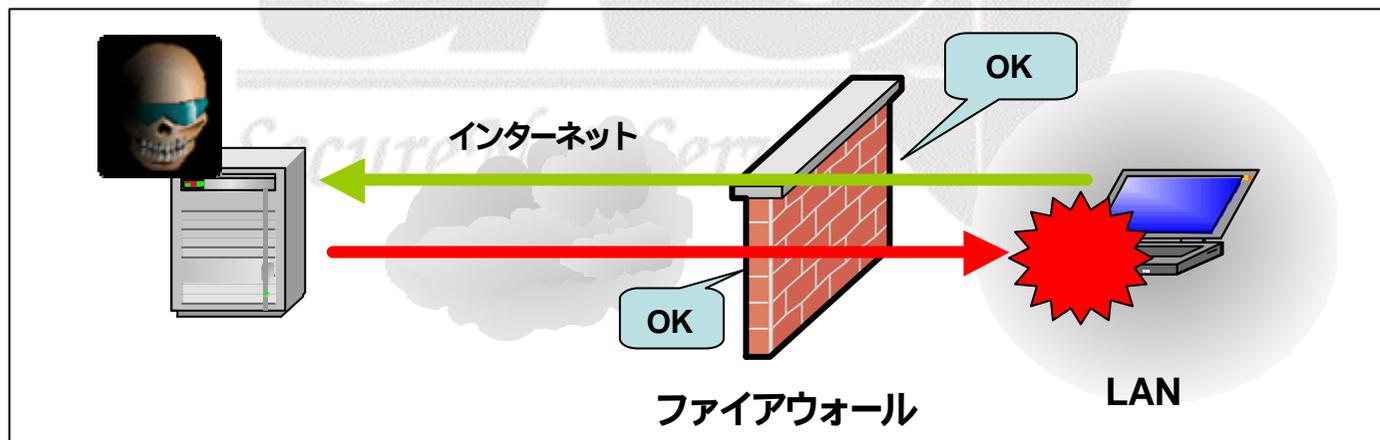
## • どうやったらできるの？

- 標的となるアプリケーションに悪意あるデータの送受信を行ってもらうこと(受動的な攻撃)
- 悪意あるデータの送受信は、ユーザがなにげなく行ったことで引き起こされることが多い
  - ハイパーリンクのクリック
  - サーバへの接続
  - 電子メールの受信
- **つまり、そうとは知らずに被害を受けてしまうことがあります!**

能動的な攻撃」はファイアウォールで遮断される公算が高い



受動的な攻撃」はファイアウォールを通過してしまう可能性がある



## 攻撃の種類(1)

### セキュリティホールを利用する

例:

- 不適切な MIME ヘッダーが原因でInternet Explorerが電子メールの添付ファイルを実行する (MS01-020)

→ “Klez”や”BugBear”, ”Sobig”などのウイルスが利用

- 2002年2月11日 Internet Explorer の累積的な修正プログラム (MS02-005)に含まれる:  
Document.Open機能による「フレームのドメイン照合」の変種

→ 2002年2月”CoolNow”ウイルスが利用



## 攻撃の種類(2)

### 機能や仕様を利用する

例:

- ActiveX コントロール

• 知らないうちにダイヤルアップネットワークの設定を書き換えられてしまい、高額な利用料金の請求が届いた、など。。。

SecureNet Service

# 攻撃の実例

-IE&WMP-

SecureNet Service



## Windows Media Player(WMP)

- 最新版はバージョン9

<http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/>

- Windows 98, ME, 2000, XP に付属
- 動画や音楽の再生、インターネットラジオの受信などの用途



## ファイルが自動実行されるセキュリティホール

- www.malware.comの http-equiv (グループ名?)によって  
2002年の8月に発見される
  - the!STENCH  
<http://www.malware.com/stench.html>
- (きっと)あまり知られていない。。。



## 攻撃の実例

1. Windows Media Download (WMD) Packages ファイル  
を利用
2. WMP 7.0 および 7.1 では、ダウンロードされた WMD ファイル(が解凍されたファイル)が設置されるパスが推測可能
3. IEにWebページを読み込ませ、OBJECTタグの  
CODEBASE属性に上記パスを指定させてファイルを実行させる

## 発見者に問い合わせてみたところ・・・

- 問題の根源はIEがOBJECTタグのCODEBASE属性に対して異常な解釈を行うところにある

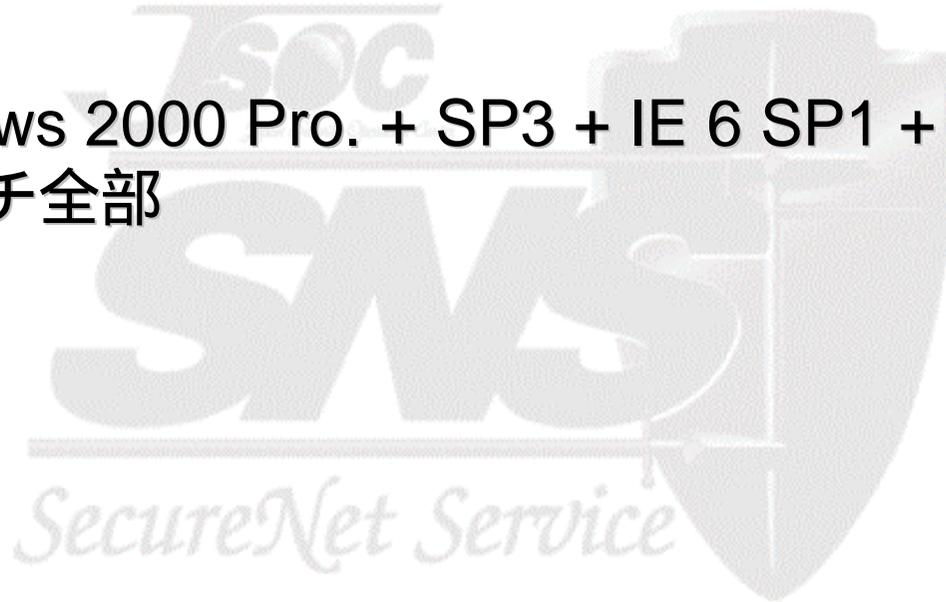
過去、GreyMagic Software が報告した  
“GreyMagic Security Advisory GM#001-IE”が発端

最近(2003年 2月)彼らが発表した  
”Self-Executing HTML: Internet Explorer 5.5 and 6.0  
Part II” も、この異常な解釈を利用している



## 影響を受ける環境(確認できたもの)

- Windows 2000 Pro. + SP3 + IE 5.5 SP2 + WMP 7.1  
+ パッチ全部
- Windows 2000 Pro. + SP3 + IE 6 SP1 + WMP 7.1  
+ パッチ全部





# the!STENCH のデモンストレーション



## この問題への対策

- IEの[インターネットオプション]の設定から  
[アクティブスクリプト]を[無効]にする
- IEの[インターネットオプション]の設定から  
[ファイルのダウンロード]を無効にする
- WMP 9 へのアップグレード
  - WMD ファイルが格納されるディレクトリ名がランダムな8文字へと変更される
  - ただしhttp-equiv 曰く根本的な解決ではないだろう」



# クライアントコンピュータを守るために



- 脅威は、どんなソフトウェアにも潜んでいる
- Windows をご利用の皆さんは、WMP9へのアップグレードをお忘れずに。。

SecureNet Service

## 参考文献

Unpatched IE security holes

<http://www.pivx.com/larholm/unpatched/>

malware.com

<http://www.malware.com>

GrayMagic Software

<http://sec.greymagic.com/news/>

# 謝辞

Thanks to:  
[http-equiv of malware.com](http://equivofmalware.com)

